

投稿規定

2021年4月改定

1 論文投稿にあたり

- ① 論文の採否は本誌編集委員（複数名）の査読により決定します。
- ② 査読を円滑に進行するために、論文の掲載希望欄・目的・結論を明記した200字程度の投稿要旨をご提出下さい。
- ③ 他誌に掲載済・投稿中である論文はお断りします。既報論文と対象が同じで別の観点から論じるような場合は、新たに得られた知見と既報論文と異なる点を明記して下さい。また、既報論文を適切に引用して下さい。
- ④ 多数症例を対象にした研究には施設内の研究倫理（治験）審査委員会（IRB）の承認が必要です。論文末尾に承認を得ていることを明記して下さい。

2 論文投稿の方法

- ① 論文は郵送・メール送信どちらでも拝受いたします。郵送の場合、CD-R等の記憶媒体を用いて電子データもご提出下さい。メール送信の場合、弊社では1通当たり70MBまでの容量であれば受信できます。
- ② 原稿は日本語で執筆して下さい。原稿はA4判とし、1頁の文字数は1,000字程度となるように作成して下さい。
- ③ 原稿の分量は総説および診療（原著系）欄は12,000字、症例・技術・検査・情報欄は8,000字、短報欄は3,000字を目安にして下さい。分量には文献、英文要旨、図・画像・表を含み、図・画像・表はそれぞれ1点400字に換算して下さい（例：組み画像 図1-A, B, Cは3図1,200字に換算）。
- ④ 複数名の共著により執筆した論文も拝受いたします。著者数は総説および診療欄は12名以内、症例・技術・検査・情報・短報欄は8名以内として下さい。
- ⑤ 総説・診療・症例・技術・検査欄の論文は英文要旨（Summary）をつけて下さい（情報・短報欄は不要です）。Summaryは100 words程度で作成し、論文のタイトル・筆頭著者名・筆頭著者所属も記載して下さい。
- ⑥ 論文中の医学用語の表記は「放射線診療用語集」（日本医学放射線学会編）に従って下さい。
- ⑦ 画像データはできるだけ解像度が高い状態（300 dpi程度）で保存したデータをご提出下さい。矢印や記号が入る場合は、矢印等の入っていないデータも併せてご提出下さい。図表は原則として執筆者オリジナルのものに限ります。転載が必要な場合は、投稿者自身で著作権者・出版元に転載申請を行い、許諾を得て下さい。
- ⑧ 症例欄では、診断の裏付けとなる病理組織像をできる限り呈示して下さい。なお、短報に病理組織像は不要です。
- ⑨ 引用文献は下記の形式で、出現順に記載してください。本文の引用箇所には、文献に対応した番号を記載して下さい。著者が3名以上の場合は筆頭者以外を“et al”あるいは“ほか”として下さい。雑誌名の略称はIndex Medicusや医学中央雑誌を参考にして下さい。
〔雑誌〕著者名（et al/ほか）：表題. 雑誌名 巻：引用頁，発行年
〔単行本〕著者名（et al/ほか）：表題，編者名，書名. 引用頁，発行所，発行年
例1）小林有香ほか：複雑痔瘻のMRI. 臨放 44：469-475, 1999
例2）Itai Y, Matsui O：Blood flow and liver imaging. Radiology 202：306-314, 1997
例3）Choi BI et al：Diagnosis and staging of cholangiocarcinoma by computed tomography, Meyers MA ed, Neoplasms of the Digestive Tract：Imaging, Staging and Management. p503-506, Lippincott-Raven, 1998
- ⑩ 論文の索引用語を日本語で3語程度付記して下さい。

3 論文査読後

- ① 編集委員会での査読の結果、採用となった場合は、掲載号が決まった段階でご連絡いたします。加筆・修正が必要な場合や掲載が難しいと判断された場合は、その旨を編集室よりご連絡いたします。
- ② 筆頭著者には掲載誌1部ならびに掲載論文の著者閲覧用PDFファイルを贈呈いたします。別刷の無料贈呈はいたしません。

4 投稿論文の著作権について

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社に譲渡されたものとし、これらの諸権利の許諾は金原出版株式会社が行います。

5 お問い合わせ・論文送付先

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目31番14号 金原出版株式会社「臨床放射線」編集室
電話：03-3811-7165 メール：rinpo@kanehara-shuppan.co.jp